



2026年4月2日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証 Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員 辻 本 拓
財務 IR 部長
TEL. 03-5937-6466

投資家Q & A 2026年3月

2026年3月に機関投資家様・個人投資家様より頂戴した主なご質問とその回答についてレポートいたします。

本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーの観点より、毎月第2営業日に開示を予定しております。また、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

中東情勢について

Q. 2月16日に公表された「2026年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」は中東情勢の深刻化前でしたが、足元的情勢変化を踏まえた通期見通しや、2月末以降のエネルギー領域におけるユーザーからの問い合わせ状況に変化はありますか。

A. 当社グループの2026年3月期業績に与える中東情勢等の外部環境の影響は、エネルギー領域及び人材領域ともに限定的であり、2月16日公表した業績予想前提への影響は限定的と見込んでおります。

エネルギー領域においては、引越しを契機とした電力・ガス契約の成約支援を主軸としております。国内で年間約420万世帯にのぼる引越し需要は、電気料金の水準や社会情勢に関わらず発生する性質のものです。2月末以降、中東情勢は緊迫化しておりますが、最大の需要期(1～3月)にあたる足元のユーザーからの問い合わせ件数および成約状況への影響は見られず、堅調に推移しております。

人材領域においても、多種多様な業界の採用支援を展開することで景気変動リスクを分散するポートフォリオを構築しております。資源価格の高止まりが長期化した場合においても、成長性に与える影響は現時点では軽微であると判断しております。

Q. ホルムズ海峡の緊張緩和が見えない中、燃料価格の高騰が電力調達コストを押し上げる可能性があります。提携先の電力・ガス事業者において、新規申込受付の制限や、コスト転嫁に伴う成約単価の変更など、事業環境に変化の兆候は現れているのでしょうか。

A. 情勢の長期化により資源価格が高騰した場合に、電力・ガス事業者の経営環境に影響が及ぶ可能性は否定できません。

2022年のロシア・ウクライナ情勢直後には、ユーザーへの適正な価格転嫁制度が未整備であったことから事業者の経営状況が悪化し、新規獲得意欲が減退し、当社の成約単価にも下落影響が生じました。しかし現在は、多くの事業者が市場価格連動型プランの導入等により、コスト変動を柔軟にユーザーに転嫁できる体制を整えています。

仮に今後、資源価格の高騰が継続した場合においても、当時の急激な変化と比較すれば、当社業績への影響はより限定的かつ緩やかなものに留まると分析しております。

今後の情勢状況や資源価格水準とそれによる電力事業者への影響は注視する必要がありますが、現状において、電力事業者側の新規申込受付制限や成約単価変更等の事業環境変化兆候が現れている訳ではございません。

エネルギー領域

Q. 系統用蓄電所事業において既に卸電力市場・需給調整市場での取引を開始し、検証プロジェクトも黒字化しているということですが、なぜ群馬伊勢崎第二蓄電所での需給調整市場の取引開始の遅れが本格参入判断の遅れに繋がるのでしょうか。

A. 当社は、系統用蓄電所事業において卸電力市場・需給調整市場・容量市場の主に3つの市場取引パターンで市場動向に応じた最適運用で収益の最大化を図っていきたくて考えております。検証3ヶ所のうち2ヶ所においては既に卸電力市場、需給調整市場での取引を開始し、複数の市場取引による収益性の確認も実施できております。3ヶ所目の群馬伊勢崎第二蓄電所においても2025年10月の稼働開始後の卸電力市場での取引に加えて、2026年3月には需給調整市場での取引開始が行える予定ではありました。

現在卸電力市場及び需給調整市場での取引を実施している2ヶ所での収益も順調で既に開示させて頂いています通り、初年度から黒字転換見込みとなっており、3ヶ所目の群馬伊勢崎第二蓄電所での3月の需給調整市場での取引開始及び複数市場取引による収益性の確認をもって検証完了として、本格参入判断する予定となっておりましたが群馬伊勢崎第二蓄電所での取引開始が若干遅れている状況となります。

群馬伊勢崎第二蓄電所においても、申請手続きやテスト等も完了し、3月には需給調整市場での取引開始ができる見込みであったことから、2026年3月期末（3月31日）までに取引開始をし、本格参入判断を行う予定でしたが、期末までに取引開始及び複数市場取引による適切な収益性確認が出来なかったために、本格参入判断の遅れとなっております。

人材領域について

Q. 人材領域における今後の採用単価の動向及び、来期の業績の見通しについて教えてください。

A. 企業側の採用意欲は依然として極めて堅調に推移しており、人材領域の業績は今後も安定的に成長するものと見込んでおります。

採用単価については、市場全体の上昇傾向に加え、HRteam社との統合によるグループの交渉力向上も寄与していきます。当社グループとしてのプレゼンス向上に伴い、より好条件での契約締結を進め、今後も単価上昇を継続していきたいと考えております。

また、2027年3月期については、キャリアアドバイザーの積極増員に伴う紹介件数の拡大に加え、既存事業の成長やHRteam社の通年寄与(12ヵ月分)により、人材領域全体での継続した高成長を見込んでおります。

会社概要

会社名 : ポート株式会社
代表者 : 代表取締役社長 CEO 春日博文
所在地 : 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー5階
設立 : 2011年4月
資本金 : 33百万円 (2025年12月末時点)
URL : <https://www.theport.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

ポート株式会社 : IR 担当
コーポレートサイト : <https://www.theport.jp/>
E-mail : ir@theport.jp TEL : 03-5937-6731

※当社ではリモートワーク制度を導入しております。
お電話が通じにくくなる場合がございますので、
お問い合わせはE-mailまでお願いできますと幸いです。